

## 2008年度第5回 統計関連学会連合理事会 議事録

日 時： 平成20年11月15日（土） 14：30－15：50

場 所： 統計数理研究所 新館2F 特別会議室

出席者： 北川源四郎、岩崎学、岡太彬訓、狩野 裕、鎌倉稔成、白旗慎吾、田中勝人、  
丹後俊郎、馬場康維、水田正弘

### 議 事

#### 1. 連合理事会理事長報告

北川氏（連合理事会理事長）より統計関連の日本学術会議会員選出結果についての報告があった。その中で、情報学委員会副委員長の武市正人東大教授より北川氏へ情報学分野に所属される統計学関連の方々を中心として、情報学と統計学に係わる領域の議論を行う分科会の設置の提案がなされたことの紹介があった。

#### 2. 2009年度連合大会について

すでに組織委員会で報告があったのでここでは割愛した。

#### 3. 統計教育推進委員会の設置

岩崎氏（事業委員会委員長）より統計教育全般についての全般の活動を行うための統計教育推進委員会の設置の提案がなされ承認された。委員会メンバーはとりあえず既存の事業委員会のメンバーとし、必要に応じて追加することとした。なお、直近の活動として2008年12月6日（土）14:00-17:00、多摩大学ルネッサンスセンター（品川）において、第1回統計関連学会連合シンポジウム～統計教育の新展開、知識基盤社会におけるデータ活用力の育成－新領域「資料の活用」を支える教材・授業モデル－を開催することとした。

#### 4. 統計関連学会の活動記録の保存について

北川連合理事会理事長より北川統計数理研究所長へ統計関連学会の資料の保存について大学共同利用機関である統計数理研究所に格別の配慮をお願いする要望書を提出したい旨の提案があり、了承された。

#### 5. 学術雑誌について

統計数理研究所長の立場から北川連合理事会理事長が「AISM (Annals of the Institute of Statistical Mathematics)の改革について」と称して、日本の統計コミュニティの愛着がわくような雑誌にすることを目的としたAISMの改革案の一つとして、AEの選出、Co-Editorの選出など統計関連学会に編集に参加していただけないか、という

提案がなされた。これに対し、類似の提案が以前、統計数理研究所の栗木哲氏よりあった際、連合理事会ではジャーナル検討委員会を立ち上げて議論し、既存の学会の雑誌との調整が困難であるという理由で提案を承認できなかった経緯が述べられ、様々な議論が展開されたが、今回も同様の意味で難しいという判断が大勢を占めたが、この提案は継続して議論していくことになった。

#### 6. 統計関連学会の運営体制について

岩崎氏より、シンフォニカへの連合理事会事務の委託内容の再検討、連合理事会開催の連絡、理事会の議事録作成など庶務的な仕事をする「幹事（仮称）」を選任すること、連合理事会の会計のあり方、など運営体制について意見が出され、幹事を置く件は承認された。なお、幹事の人選は連合理事会に一任する。その他の案件については今後さらに検討をすすめることとなった。

#### 7. 共同利用・共同研究拠点申請への支援について

水田氏より、1) 最近の文部科学省による「共同利用・共同研究拠点の認定制度」に北大を含めた主要大学のスーパーコンピュータを持つ大型計算機センターが申請を計画していること、2) その際に、研究者コミュニティからの申請拠点への推薦状をいただくことが重要な要件になっていること、3) そこで、統計関連学会連合からも同様な推薦状を出していただけるかどうか議論をお願いしたい、という提案があった。これに対し、一部の拠点にだけ推薦状を出すのは学会のスタンスとしておかしいのではないか、などという意見もあったが、「統計科学」存在をアピールすることにつながるという意味から承認された。

#### 8. その他

次回の理事会は次回の組織委員会に続けて、2009年2月21日土曜日に開催する予定とした。

以上